

古代末期からイスラームへの文化伝播の文献学的研究 ーアラビア語・ペルシア語写本からー

青 木 健
早稲田大学 非常勤講師

緒 言：先行研究の課題～「パールシーが所持していた写本」から「ムスリムが書写した写本」へ～

従来のゾロアスター教研究では、アラビア語・ペルシア語写本調査の範囲が、「パールシーが所持している(いた)写本」に限定されていた。この為、最大の(そして最も富裕な)パールシー人口を擁するムンバイからグジャラート州沿岸部の写本図書館に調査が集中した。

しかし、ゾロアスター教アラビア語・ペルシア語写本は、「ゾロアスター教徒が所持していた写本」に限定されるわけではない。アラビア語・ペルシア語がゾロアスター教徒とムスリムに共通の言語である以上、ムスリムが所持しているケースも考えられる。また、ゾロアスター教パフラヴィー語文献の伝承経路も、ゾロアスター教徒たちによって独占されているわけではない。7～10世紀には、ゾロアスター教から改宗したムスリムがパフラヴィー語文献をアラビア語訳することもあった。このようなケースを想定するなら、イスラーム時代以降のゾロアスター教写本としては、「ゾロアスター教徒が所持していたペルシア語写本」に限らず、「ムスリムが所持していたペルシア語写本」、「ゾロアスター教から改宗したムスリムが翻訳したアラビア語写本」まで含めるべきである。

以上のような理由で、筆者はインド連邦共和国西部ではなく、従来手薄な状況にあったイラン・イスラーム共和国とトルコ共和国内におけるゾロアスター教アラビア語・ペルシア語写本調査を行った。調査の目的は予め特定した個別写本を入手することではなく、大まかな調査によって全体の見取り図を手に入れ、今後のゾロアスター教アラビア語・ペルシア語写本研究の方向性を探ることであった。

調 査

調査の方法としては、先ず Sharifi 1991 から、イラン・

イスラーム共和国内の写本図書館情報を得た。記載内容は20年近く前のものだが、現在のところこれに代わる網羅的な情報源はない。更に、事前に東京大学東洋文化研究所、東京大学文学部イスラーム学研究室、東洋文庫の3ヶ所で、98館分、合計218冊の記述式カタログを検討した。

次に現地調査として、東京発モスクワ経由でイスタンブルに入り、ここから陸路でヴァン、オルミーエ、タブリーズ、ラシュト、ラームサル、テヘランの順で東に向かった。具体的には、スレイマニエ図書館、キョブリュリュ図書館、イスタンブル大学図書館、ISAM 図書館(以上、イスタンブル)、オルミーエ・シリア教会(オルミーエ)、タブリーズ中央図書館(タブリーズ)、ラシュト・メッリー図書館、マドラセ・マフダヴィー図書館(以上、ラシュト)、テヘラン大学中央図書館、イラン・イスラーム共和国議会図書館、マレク図書館、(以上、テヘラン)を回った。現地では、予め見当を付けていたコーデックスに加え、図書館員に聞き取りを行い、整理中の写本や貴重書の情報を得て、ゾロアスター教アラビア語・ペルシア語写本の蒐集に当たった。1ヶ月間の調査としては、限界まで動き回ったと思う。

成 果

今回の調査で手に取ることが出来た写本を分類する試案を示したい。イラン・イスラーム共和国とトルコ共和国に所蔵されているゾロアスター教写本は、4系統に整理できる。

①正統的ゾロアスター教写本：以下の3つのいずれにも含まれないゾロアスター教写本。偶発的に発見された『アヴェスター』やパフラヴィー語写本も含む。コーデックス数ではなく、個々のリサーラ数(内容重複を含む)に換算して151タイトル。

②占星術的ゾロアスター教写本：占星術に関するパフラヴィー語文献がアラビア語訳され、それがゾロアスター

教の賢者のものとして伝承されてきた文献。同じくりサーラ数に換算して 30 タイトル。

③錬金術的ゾロアスター教写本：錬金術に関するパフラーヴィー語文献がアラビア語訳され、それがゾロアスター教の賢者のものとして伝承されてきた文献。同じくりサーラ数に換算して 13 タイトル。

④アーザル・カイヴァーン学派写本：16～17 世紀にインド北部で活躍したアーザル・カイヴァーン学派の文献。同じくりサーラ数に換算して 41 タイトル。

考 察

今回の調査によって、イラン・イスラーム共和国とトルコ共和国には、合計 235 タイトルと、予想を上回る規模でゾロアスター教写本が所蔵されていることが判明した。イスラーム系の写本図書館にこれだけのゾロアスター教写本があるとは、筆者としても意外だった。これらを精査すれば、インド西海岸に調査範囲を限定して蒐集された写本に基づいた従来の研究に対する修正が必要になるかも知れない。

ここでは、紙数の関係で、③の錬金術的ゾロアスター教写本の一覧表を検討してみよう（表 1）。

古代イランの賢者とされるジャーマースプは、前イスラーム期のイランの叡智を象徴する賢者として、さまざまな分野の学問書を著したことになっている。その 1 つが錬金術であり、今回参照できた錬金術的ゾロアスター教の写本 13 冊は、全て『賢者ジャーマースプの錬金術の書』という 1 冊の文献から派生したバリエーションである。

錬金術師としてのジャーマースプに関する書誌情報としては、Sezgin 1971, pp. 59-60 を参照。セズギンによれば、錬金術師ジャーマースプ伝説は以下のように要約される。ハッラーンのサービア人から錬金術を学んだアガトダイモンは、その知識を弟子のジャーマースプに伝えた。彼は、それを書物に著して、サーサーン王朝の初代皇帝アルダシールに献呈した。その知識がイブン・ウマイルやザカリヤー・ラーズイーに継承され、イスラーム錬金術が形成されたのである。

セズギンによれば、アラビア語版の最古の写本は、9CAH = 14-15CCE のラーンプール（インドのウツタル・プラデーシュ州）写本である。今回参照できた中では、8 のマレク版写本がこれを遡る可能性がある。また、9 のマレク版写本は、セズギンが挙げていない新出資料で

表 1 錬金術的ゾロアスター教写本の一覧表

番号	題名	所蔵図書館	書写年代
1	Risālat Jāmāsb al-Hakīm (Arabic)	Majles 27980-17	1091AH = 1680CE
2	Tadhkere va Fehrest-e Ketāb-hā-ye Kimiyā'ī az Jāmās va Hakīmān-e Yūnān va Maghreb va Pādshāhān-e Hakīm va Dhū al-Nūn va Jāber	Majles Sanā 12889-3	12CAH = 17-18CCE
3	Sharh-e Ketāb-e Jāmāsb; Kimiyā	Dā'erat al-Ma'āref 66845	1104AH = 1692CE
4	Jāmāsb Nāme	Dāneshgāh-e Tehrān, Adabiyāt 71-J	1258AH = 1842CE
5	Jāmāsb Nāme	Dāneshgāh-e Tehrān 6440	1230AH = 1814CE
6	Noskhe-ye Jāmāsb	Mashkūh 1087-7	不 明
7	Resāle dar Tadbīr az Jāmāsb Hakīm	Malek 3280-34	1281AH(?) = 1864CE
8	Bandī dar Kimiyā bā 'Onbān-e "qāla Mājāsf(?)" (Arabic)	Malek 3246-9	9-10CAH = 14-16CCE
9	Risālah Jāmāsb al-Hakīm ilā Ardashīr (Arabic)	Malek 1686-7	11CAH = 16-17CCE
10	Jāmāsb Nāme	Malek 908-1	1246AH = 1830CE
11	Jāmāsb Nāme	Malek 3466-17	10-11CAH = 15-17CCE
12	Resāle-ye Jāmāsb Hakīm	Melli 1871-3	1083AH = 1672CE
13	Tarjome-ye Jāmāsb Nāme	Melli Tabriz 2796-13	不 明

ある。

ペルシア語版の写本については、セズギンはアスガル・マフダヴィー版しか挙げておらず、しかも書写年代を欠く。今回参照できた中では 12 のメッリー版が最古の写本なので、校訂するとしたら、これとアスガル・マフダヴィー版を比較するべきと考えられる。

要 約

この研究は、イスラーム以前のゾロアスター教文献のアラビア語・ペルシア語写本はインドのパールスィーだけでなく、イスラーム諸国の写本図書館にも所蔵されているのではないかとの見通しに立って始められた。イラン・イスラーム共和国とトルコ共和国の写本図書館を調査した結果、タイトル数にして 235 の写本が確認された。その中には、従来の研究に活用されていない良質写本も含まれていた。今回は 1 年間と時間が限られていた中、イランとトルコにおけるゾロアスター教写本所蔵の全体像を掴むところまで研究を進めることが出来た。今後は、個々の写本の精査と校訂が課題である。

謝 辞

今回、財団法人三島海雲記念財団から、ゾロアスター教をアラビア語・ペルシア語写本から研究するという、いわば大手門ではなく搦め手から攻めるタイプの研究にご理解を頂き、誠にありがとうございました。しかも方法論が、それらの写本をイランとトルコのイスラーム系写本図書館で 1 から探すという、地を這うような作業を必要とするものでしたので、研究助成なくしてはこの調査は極めて困難だったと思います。現地では、ご厚意に報いる為に 1 冊でも写本を蒐集しなくてはならないというプレッシャーに苛まれましたが、予想外のタイトル数が出てきて、今は逆の意味で呆然としています。

文 献

- 1) Sezgin, Fuat 1971: *Geschichte des arabischen Schrifttums: Band IV Alchimie - Chemie - Botanik - Agrikultur bis ca. 430 H.*, Leiden.
- 2) Sharifi, Hadi 1991: "Iran," *World Survey of Islamic Manuscripts*, general editor, Geoffrey Roper, Vol. 1, 1992, pp. 455-551.